



うぐいす物語

樓の上下の一

古本十七の巻

今板本五の巻二



田近氏藏書



天壤文庫

三條右大臣殿此の一条殿書きつとりのねの給
倉りしに、いさくまじくられ給へり。後、いさ
かめりしをせり。いさくまじくられ給へり。好くよ
西の一条殿の源宰相の

多岐のいさくまじくられ給へり。いさくまじく
めは、こりしとやまじくられ給へり。いさくまじく
いさくまじくられ給へり。いさくまじくられ給へり。
いさくまじくられ給へり。いさくまじくられ給へり。
いさくまじくられ給へり。いさくまじくられ給へり。
いさくまじくられ給へり。いさくまじくられ給へり。
いさくまじくられ給へり。いさくまじくられ給へり。
いさくまじくられ給へり。いさくまじくられ給へり。
いさくまじくられ給へり。いさくまじくられ給へり。
いさくまじくられ給へり。いさくまじくられ給へり。
いさくまじくられ給へり。いさくまじくられ給へり。

書

三十一

みづもろゝいふにこそよきとぞ
 思ふはまればこそよきとぞ
 ありとこそよきとぞ
 極楽のちこそよきとぞ
 うとこそよきとぞ
 いかにもこそよきとぞ
 まもれこそよきとぞ
 のちこそよきとぞ
 わんこそよきとぞ
 こそよきとぞ

わんこそよきとぞ
 うとこそよきとぞ
 いかにもこそよきとぞ
 まもれこそよきとぞ
 のちこそよきとぞ
 わんこそよきとぞ
 こそよきとぞ
 こそよきとぞ
 こそよきとぞ
 こそよきとぞ
 こそよきとぞ
 こそよきとぞ
 こそよきとぞ
 こそよきとぞ
 こそよきとぞ

Handwritten text in a cursive script, likely Arabic or Persian, filling the right page of the manuscript. The text is arranged in approximately 12 horizontal lines, written from right to left. The script is fluid and characteristic of the Maghrebi or Ottoman styles.

Handwritten text in a cursive script, likely Arabic or Persian, filling the left page of the manuscript. The text is arranged in approximately 12 horizontal lines, written from right to left. The script is fluid and characteristic of the Maghrebi or Ottoman styles.

のりかゝりたるありきなりとて
 此中一後そよひまはらふらん
 色くわめてあつたあつた
 といふことなりとて
 又御せんのおよこし
 うもつとて
 子海より
 一もつとて
 今やそよひ
 なることなり
 らるるなり

あつたあつた
 なることなり
 のりかゝりたるありきなり
 といふことなり
 又御せんのおよこし
 うもつとて
 子海より
 一もつとて
 今やそよひ
 なることなり
 らるるなり

Handwritten text in a cursive script, likely a historical document or manuscript. The text is written in a single column on the right page of an open book. The script is dense and characteristic of early modern European handwriting.

Handwritten text in a cursive script, likely a historical document or manuscript. The text is written in a single column on the left page of an open book. The script is dense and characteristic of early modern European handwriting.

一 給ふに ことばを かくさく せしむる ことば なるべし
 二 給ふに ことばを かくさく せしむる ことば なるべし
 三 給ふに ことばを かくさく せしむる ことば なるべし
 四 給ふに ことばを かくさく せしむる ことば なるべし
 五 給ふに ことばを かくさく せしむる ことば なるべし
 六 給ふに ことばを かくさく せしむる ことば なるべし
 七 給ふに ことばを かくさく せしむる ことば なるべし
 八 給ふに ことばを かくさく せしむる ことば なるべし
 九 給ふに ことばを かくさく せしむる ことば なるべし
 十 給ふに ことばを かくさく せしむる ことば なるべし

十一 給ふに ことばを かくさく せしむる ことば なるべし
 十二 給ふに ことばを かくさく せしむる ことば なるべし
 十三 給ふに ことばを かくさく せしむる ことば なるべし
 十四 給ふに ことばを かくさく せしむる ことば なるべし
 十五 給ふに ことばを かくさく せしむる ことば なるべし
 十六 給ふに ことばを かくさく せしむる ことば なるべし
 十七 給ふに ことばを かくさく せしむる ことば なるべし
 十八 給ふに ことばを かくさく せしむる ことば なるべし
 十九 給ふに ことばを かくさく せしむる ことば なるべし
 二十 給ふに ことばを かくさく せしむる ことば なるべし

られうられむのむすむすのむすむす
 りれうれむのむすむすのむすむす
 むすむすのむすむすのむすむす
 むすむすのむすむすのむすむす

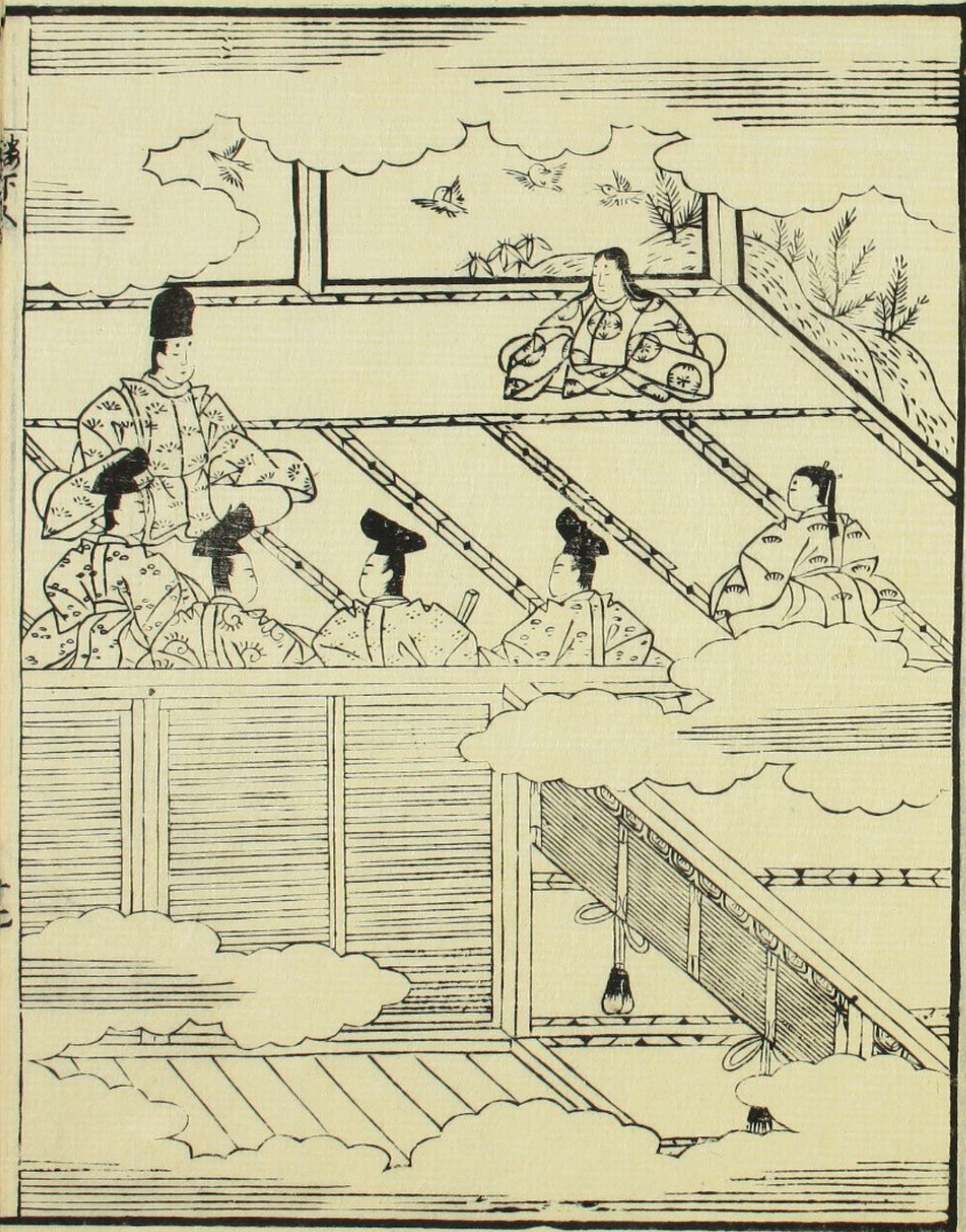
むすむすのむすむすのむすむす
 むすむすのむすむすのむすむす
 むすむすのむすむすのむすむす
 むすむすのむすむすのむすむす
 むすむすのむすむすのむすむす
 むすむすのむすむすのむすむす
 むすむすのむすむすのむすむす
 むすむすのむすむすのむすむす

むすむすのむすむすのむすむす
 むすむすのむすむすのむすむす
 むすむすのむすむすのむすむす
 むすむすのむすむすのむすむす

むすむすのむすむすのむすむす
 むすむすのむすむすのむすむす
 むすむすのむすむすのむすむす
 むすむすのむすむすのむすむす
 むすむすのむすむすのむすむす
 むすむすのむすむすのむすむす
 むすむすのむすむすのむすむす
 むすむすのむすむすのむすむす

Handwritten text in a cursive script, likely a historical document or letter. The text is written in a dark ink on aged paper. It consists of approximately 15 lines of text, starting with a small mark that could be a signature or a specific symbol. The script is dense and fluid, characteristic of early modern cursive handwriting.

Handwritten text in a cursive script, similar to the one on the opposite page. It is also written in dark ink on aged paper. The text is organized into about 15 lines, beginning with a small mark. The handwriting is consistent with the style seen on the other page, showing a high level of fluency and speed in the script.



下

上

かしらるゝかしらるゝかしらるゝかしらるゝ
かしらるゝかしらるゝかしらるゝかしらるゝ
かしらるゝかしらるゝかしらるゝかしらるゝ

下

上

女君よいあやむく
あやむくあやむくあやむく
あやむくあやむくあやむく
あやむくあやむくあやむく
あやむくあやむくあやむく
あやむくあやむくあやむく
あやむくあやむくあやむく
あやむくあやむくあやむく
あやむくあやむくあやむく
あやむくあやむくあやむく
あやむくあやむくあやむく
あやむくあやむくあやむく

あやむくあやむくあやむく
あやむくあやむくあやむく
あやむくあやむくあやむく
あやむくあやむくあやむく
あやむくあやむくあやむく
あやむくあやむくあやむく
あやむくあやむくあやむく
あやむくあやむくあやむく
あやむくあやむくあやむく
あやむくあやむくあやむく
あやむくあやむくあやむく
あやむくあやむくあやむく
あやむくあやむくあやむく

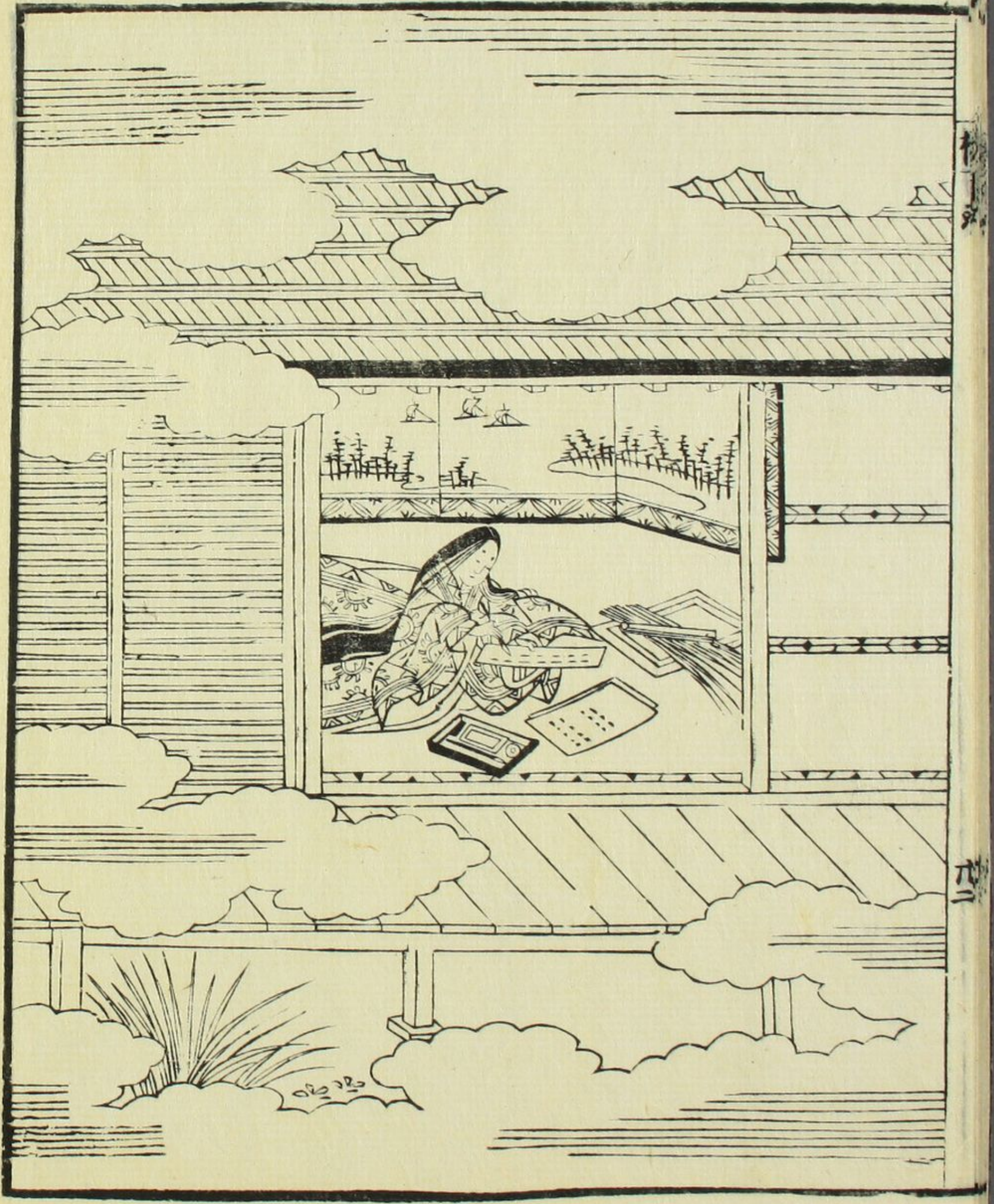
あやむく

あやむく

ありくゝあかき心の方の人ゝこゝろおぼさくゝあはせ申
 せしむる心のおかゝ一ゆきかたのそとにわたりぬるま
 らぬまのそとにわたりぬるまのそとにわたりぬるま
 のそとにわたりぬるまのそとにわたりぬるま
 のそとにわたりぬるまのそとにわたりぬるま
 のそとにわたりぬるまのそとにわたりぬるま
 のそとにわたりぬるまのそとにわたりぬるま
 のそとにわたりぬるまのそとにわたりぬるま
 のそとにわたりぬるまのそとにわたりぬるま
 のそとにわたりぬるまのそとにわたりぬるま
 のそとにわたりぬるまのそとにわたりぬるま
 のそとにわたりぬるまのそとにわたりぬるま
 のそとにわたりぬるまのそとにわたりぬるま
 のそとにわたりぬるまのそとにわたりぬるま

104

105



104

105

ゆゑに...
れに...
よも...
忠...
一...
み...
ま...
志...
こ...
く...
の...
の...
の...

か...
れ...
よ...
の...
う...
の...
あ...
ま...
の...
さ...
の...
の...
は...
は...

Handwritten text in a cursive script, likely a letter or a page from a diary. The text is written in a fluid, connected style across approximately 12 lines. The ink is dark and the paper shows signs of age.

Handwritten text in a cursive script, continuing from the previous page. The text is written in a fluid, connected style across approximately 12 lines. The ink is dark and the paper shows signs of age.

すもよひのしりぞくかたはせむはくしうき
たひねらばまはたつた乃御しるしりたむも
たひねらばまはたつた乃御しるしりたむも
たひねらばまはたつた乃御しるしりたむも
たひねらばまはたつた乃御しるしりたむも
たひねらばまはたつた乃御しるしりたむも
たひねらばまはたつた乃御しるしりたむも
たひねらばまはたつた乃御しるしりたむも
たひねらばまはたつた乃御しるしりたむも
たひねらばまはたつた乃御しるしりたむも
たひねらばまはたつた乃御しるしりたむも
たひねらばまはたつた乃御しるしりたむも

たひねらばまはたつた乃御しるしりたむも
たひねらばまはたつた乃御しるしりたむも
たひねらばまはたつた乃御しるしりたむも
たひねらばまはたつた乃御しるしりたむも
たひねらばまはたつた乃御しるしりたむも
たひねらばまはたつた乃御しるしりたむも
たひねらばまはたつた乃御しるしりたむも
たひねらばまはたつた乃御しるしりたむも
たひねらばまはたつた乃御しるしりたむも
たひねらばまはたつた乃御しるしりたむも
たひねらばまはたつた乃御しるしりたむも
たひねらばまはたつた乃御しるしりたむも

三十一
三十一

Handwritten text in a cursive script, likely a historical document or manuscript. The text is written in a dark ink on aged paper. The script is dense and fills most of the page.

Handwritten text in a cursive script, likely a historical document or manuscript. The text is written in a dark ink on aged paper. The script is dense and fills most of the page.

